

【小施策評価(平成29年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

基本目標	4	人が集い活力を生むまちづくり	小施策 主管課等	観光交流課	
施策	24	観光の振興	評価 責任者	立花 恵史	内線 3720
小施策	24-3	国際観光の推進	評価 シート 作成者	真田 伸	内線 3721

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	⇒	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
東日本大震災で落ち込んだ外国人観光客入込数は、増加基調にあり、今後更なる増加が期待されることから、広域連携を含めた積極的な海外プロモーション活動とともに、外国人観光客の受入環境整備や、盛岡の文化や祭りなどに触れ合う仕組みづくりが必要である。		観光案内板などの多言語表記など、受入環境の整備を図るとともに、積極的な海外プロモーションを行うほか、外国人観光客や外国籍の市民が祭りや伝統芸能などを気軽に体験できる仕組みづくりを推進し、盛岡ファンを国内外に広げる。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	⇒	意図(対象をどのようにしたいのか)
国内外の人, 市民		盛岡の魅力を多くの人に知ってもらう。

小施策の成果指標の達成状況・評価(平成29年度実績)

実績値の推移				実績の評価	
指標① 外国人観光客入込数	単 位	目指す方向	成 果 点	⇒	成 果 の 要 因 分 析
当初値 (H25) 0.7	万人回	↗	・外国人観光客入込数の増加	⇒	・盛岡広域圏や東北六市による連携の強化及び海外プロモーション展開
H31目標値 2.0					
H36目標値 4.0			問 題 点	⇒	問 題 の 要 因 分 析
<p>※ 戦略プロジェクト「2020あつまる・つながるまちプロジェクト」の成果指標の目標値に合わせ、平成30年度に36年度の目標値を変更している。</p>			・国の施策等により全国的に外国人観光客は増加傾向にあるものの、本市を訪れる外交人の約半数は台湾からの旅行者であり、外国人観光客に選ばれ るまち・エリアとは言い難い現状である。	⇒	・東北エリアの認知度が低いこと ・海外プロモーションや多言語による情報発信不足 ・外国人受入環境の不足

今後の方向性(平成30年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…30年度着手済または着手予定 ☆…31年度以降の着手を検討
<ul style="list-style-type: none"> ★ 台湾プロモーション ★ タイプロモーション ★ ホームページの多言語化や、Wi-Fi環境整備に向けた研究など、外国人観光客受入環境の整備 	